

鴨立庵だより

鴨立庵とは、江戸時代から続く俳諧道場「えんいくん」の初代庵主大淀三千風が開き、現在では京都の落柿舎、滋賀の無名庵と並び日本三大俳諧道場と呼ばれている「えんいくん」よ。



鴨立庵大使「えんいくん」

今月の俳句

鹿尾菜刈り終へて真水に洗ふ鎌

神奈川県茅ヶ崎市 塚本 治彦

季題は「鹿尾菜」である。浅い海中に育つ海藻で昔から食用にされてきた。春の干潮時、岩全体が「鹿尾菜」に真っ黒に覆われた姿を現わす時は見事である。海辺に暮らす人々は、天の恵みを収穫するために、潮が満ちないうちに「鎌」で「鹿尾菜」を刈る。潮水に浸った「鎌」は錆びないように当然「真水」で洗う。ところで「真水」とはどんな水だろう。水道水も「真水」には違いないが、それでは一句の景が浮かばない。磯原に面した「崖」に湧き出す「清水」こそふさわしい。一幅の春の景だ。

(鴨立庵庵主 本井 英)

今月の短歌

終戦後軍服を着た担任が
うまいかと聞く脱脂粉乳

埼玉県日高市 横田 武志

敗戦後の貧窮する子供達は米国から送られたララ物資で飢えを凌ぎました。脱脂粉乳もその一つ。経済より深刻だったのは価値観の転倒です。御国のためにと行って戦死した若者は少なくありません。「軍服を着た担任」は戦中の価値観の象徴でしょう。昨日まで敵であった米国からの美味しいとは言えない援助物を目にして、軍国教育の虚しさを感じたことでしょうか。さて、この歌を作者が詠んだ動機には、今日のウクライナ戦争が念頭にあったのではないのでしょうか。無力な者、罪のない者を苦しめるのが戦争なのだ、と。

(西行祭選者 柳 宣宏)

講座の申込み・問合せ 鴨立庵 ☎(61)6926

費用 持ち物 申込み 締切り 問合せ 定員

講座名	日程	時間	備考
座禅	5月20日(土)	13:30~14:30	姿勢・呼吸・心を整えます 講師:豊田 素道氏(慶林寺住職) 定10人 費500円(入庵料込)
伝筆	5月28日(日)	10:30~正午	温かみのある文字が書けるようになる筆文字教室 講師:認定講師わでん伝筆マスター 宮前 礼子氏 対象:中学生以上 定10人 費3,850円(材料費・入庵料込)
花の会	5月31日(水)	14:00~16:00	夏が待ち遠しいアンスリウムを使ったアレンジ 講師:府川 葉月氏 定15人 費2,500円(入庵料込) 持はさみ、タオル、持ち帰り袋
茶と遊ぶ	6月3日(土)	13:00~15:00	家にある道具で釜炒り茶を作ろう! 講師:高野 幸代氏 定6人 費3,000円(お茶菓子付き・入庵料込)

第66回西行祭の様子

